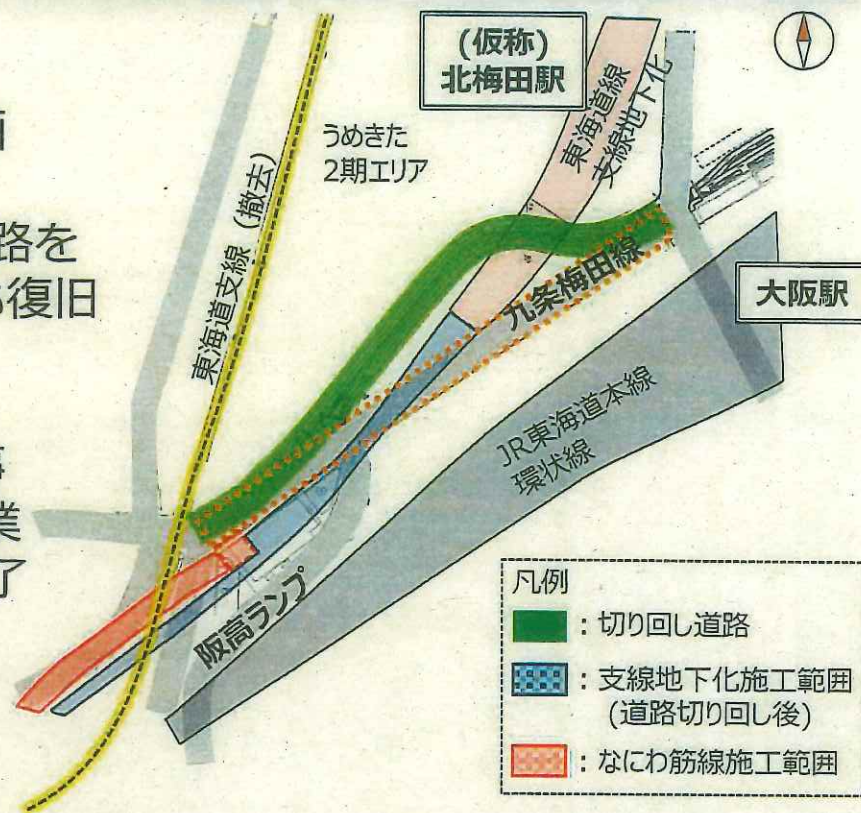


整備の緊急性（東海道線支線地下化事業とうめきた2期まちづくり）

- 東海道線支線となにわ筋線の分岐部については、東海道線支線地下化事業として函体を構築する計画
- 当該部は、2020～2021年度末の2年間で、周辺道路を切り回しの上、開削から埋戻しまで完了させ道路も復旧
- 施工の効率性、安全性等を考慮すると、同箇所でのなにわ筋線事業における開削を伴う工事（例：シールド立坑等）は、東海道線支線地下化事業と同時施工した上で2021年度末までに埋戻まで完了
- なにわ筋線の施工時期がずれると、うめきたまちづくりにも支障。事業費も増高。
（掘削土置場、新たな道路切り回し等）



年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	...	2031
地下化				開削 ▽ 分岐部工事	埋戻・ 道路復旧	開業(以降順次まち開き)		
なにわ	鉄道事業許可・ アセス等	事業採択 ▽	設計 ●		接続部 仮設工 埋戻 ▽			2031年春 開業(予定) ▽